



イベント 終了しました

【特別展関連イベント】対談 林忠彦の見た、昭和という時代

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>9月26日（金）～11月25日（火）に開催する日比谷図書文化館特別展「林忠彦写真展－日本の作家109人の顔」関連イベント。</p> <p>戦後写真史を俯瞰し、改めて見たとき、林忠彦の仕事はどう位置付けることができるのかについて語り合う公開対談。</p> <p>※千代田区民の方は住所が確認できるものをお持ちください。</p>
日にち	2014年10月18日（土） 14:00から15:30
日にち説明	当日の受付開始 13:30～
場所	地下1階 コンベンションホール（大ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（申込順）

参加費用	1000円（千代田区民500円）
講師・出演者	岡井耀毅・飯沢耕太郎
プロフィール	<p>■岡井 耀毅（おかい てるお） 写真ジャーナリスト</p> <p>早稲田大学政経学部卒業後、朝日新聞社入社。西部本社社会部、南米移動特派員、東京本社外報部、ソウル支局長、『週刊朝日』副編集長、『アサヒカメラ』編集長などを歴任。1989年に退社後はジャーナリストとして写真評論の執筆、写真集の編集などを手掛ける。2001年『評伝林忠彦』（朝日新聞社）による日本写真協会年度賞受賞。2006年『土門拳の格闘』（成甲書房）により日本写真協会学芸賞受賞</p> <p>■飯沢 耕太郎（いざわ こうたろう） 日本の写真評論家</p> <p>『「芸術写真」とその時代』（筑摩書房。1986年）、『写真に帰れ 光画の時代』（平凡社。1988年）、『都市の視線 日本の写真 1920~30年代』（創元社。1989年）の3部作で、頭角を現わし、日本の20世紀前半の写真研究者の第一人者に躍り出た。その後、雑誌「deja-vu」の編集長となる。1996年には『写真美術館へようこそ』でサントリー学芸賞受賞。</p>
主催	千代田区立日比谷図書文化館
問い合わせ先	日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2014年08月20日 10:00 から2014年10月18日 14:00
申込方法	電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館(1階受付)いずれかにて、①講座名(または講演会)、②お名前(よみがな)③電話番号をご連絡ください。
関連リンク	特別展のお知らせ 特別展「林忠彦写真展—日本の作家109人の顔」

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2014年 10月						
	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	

	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

発信日	2014.08.20
-----	------------

 印刷  リストに追加

[ツイート](#)